

# 耐アルカリガラス繊維入り 軽量ポリマーセメントモルタル 太平洋VHEモルタル タイプA

東・中・西日本高速道路株式会社編著「構造物施工管理要領」記載「左官工法による断面修復の性能照査項目」の性能試験完了材料

太平洋VHEモルタル タイプAは、早強性の高い結合材、軽量骨材、耐アルカリ性ガラス繊維を配合したプレミックスパウダーにスチレンブタジエンゴム系(SBR)ラテックスを組み合わせた、コンクリート欠損部断面修復用のポリマーセメントモルタルです。

## ▶ 特 長

- コンクリート欠損部に強く密着します。
- 軽量かつ硬化が早いので、作業効率が向上します。



## ▶ 用 途

- コンクリート構造物の欠損部の断面修復



## ▶ 製品概要・標準配合

- 太平洋VHEモルタル タイプA: 15kg/袋
- 太平洋VHEエマルジョン: 18kg/缶

### ■標準配合

太平洋VHEモルタル タイプA	15kg(1袋)
太平洋VHEエマルジョン	1.7kg
練混ぜ水	2.2~2.4kg

### ■1m<sup>3</sup>当りの標準使用量(練混ぜ水量2.3kg/袋の配合)

太平洋VHEモルタル タイプA	1,260kg(84袋)
太平洋VHEエマルジョン	143kg(約8缶)
練混ぜ水	193kg

- 1)練混ぜ水量は、施工時の気温や施工方法により変動します。したがって、標準配合の範囲内で調整してください。  
 ※練混ぜ水量は、気温が低い場合少なく、気温が高い場合は多くなります。  
 2)練混ぜ水は、水道水またはそれに準じる清水を用いてください。  
 3)練混ぜ水量2.3kg/袋により算出した数値です。

▶ 1袋当りの練上がり量 約11.9ℓ

## ▶ 性能例(20℃)

### ■性能例①

試験項目	材 齢	試験結果	試験方法
圧縮強度(N/mm <sup>2</sup> )	1日	13.3	JIS R 5201 に準じる。 (20℃、気中養生) (40×40×160)
	7日	21.0	
	28日	26.3	
曲げ強度(N/mm <sup>2</sup> )	1日	3.3	
	7日	4.7	
	28日	6.3	

### ■性能例②

試験項目	試験結果	準拠試験方法	
硬化収縮性(%)	0.01	東・中・西日本高速道路株式 会社の構造物施工管理要領 「左官工法による断面修復の 性能照査」による	
熱膨張性(×10 <sup>-5</sup> /℃)	1.4		
コンクリートとの付着性 (N/mm <sup>2</sup> )	湿潤時		1.8
	耐アルカリ性試験後		2.1
	温冷繰返し試験後		1.9
圧縮強度(N/mm <sup>2</sup> )	26.0		

- 上記データは標準配合時の試験結果です。また、厳密に管理された試験室内にて実施されたデータであって、現場においては異なる数値を示す場合があります。
- 上記データのうち「圧縮強度」は、4×4×16cmの角柱供試体により測定した結果です。Φ5×10cmの円柱供試体の場合は、この値よりも小さくなる場合があります。

# 耐アルカリガラス繊維入り 軽量ポリマーセメントモルタル 太平洋VHEモルタル タイプA

## 施工概要

- ① 劣化あるいは脆弱化した部位を、はつりあるいは高圧水で完全に除去し、健全なコンクリート面を露出させてください。
- ② コンクリート面は十分に清掃して、埃や汚れを取り除いてください。
- ③ 鉄筋が発錆している場合には、防錆処理を施してください。
- ④ 施工面には適切なプライマーを塗布してください。
- ⑤ モルタルを練混ぜる際、過度の練り混ぜによる泡の巻き込みすぎに注意してください。
- ⑥ 練混ぜ量は、作業体制、環境条件等によって調整し、一度に大量のモルタルを練り混ぜないでください。
- ⑦ 1層目は下地コンクリートが隠れる程度とし、密着するように施工してください。2層目以降の塗り付けは、追いかけて前層となじむように行ってください。
- ⑧ 最終仕上げを必ず行ってください。最終仕上げは、モルタルが締まった後に金ゴテ仕上げとしてください。仕上げの際に水を噴霧して仕上げないようにしてください。補修後は急激な乾燥を受けないよう、シート等を用いて養生を行ってください。
- ⑨ 詳細は、施工要領書をご参照ください。

### ご使用になる前に、必ずご確認ください。

●本カタログに記載される性能例他の事項は代表的な実験値や調査に基づいたものであり、「すべての現場諸条件」に当てはまるものではありません。●ご使用になる前に、使用の目的や要求性能、および使用される場合の現場諸条件を考慮して、本製品が適正であるかどうかのご検討をお願いいたします。●特に、現場において実施されること多い「圧縮強度」、「付着強度」については、試験体作成時の配合や環境温度、成形方法、試験体寸法や形状、その後の養生条件等により下回る数値を示すことがあります。●試験手順については、工事仕様書、発注者仕様書、または関連する指針(案)等をご確認頂き、必要に応じて監督係員と協議して事前に確認しておくようお願いいたします。

## 使用上の留意事項

- 練混ぜには、太平洋VHEエマルジョンを用いてください。
- 練混ぜ水は、水道水またはこれに準じる清水を用いてください。
- 欠損が大きいなどはく落の恐れがある場合は、鉄筋の設置、アンカー、メッシュの取り付け等のはく落防止対策を行ってください。
- 海水の影響を受ける箇所には使用しないでください。
- 外気温が5℃以下の場合は、作業を行わないでください。やむを得ず施工する場合は、シート等の覆いの他、ヒーター等の保温措置を講じてください。
- 施工中および施工後早期に強風、日射、降雨、降雪等の影響を受ける恐れがある場合は、シートで覆う等の養生を行ってください。
- 練混ぜには、アルミニウム製の羽根は絶対に使用しないでください。アルミニウム部材が摩耗し、施工後に異常膨張をすることがあります。
- 亜硝酸リチウムの添加は有害なNOxガスが発生しますので、絶対に行わないでください。
- 太平洋VHEモルタル タイプAの保管は、雨露等がかからず湿気の少ない場所を選び、パレット等を敷いて床面から離れた状態で、ビニールシート等で覆ってください。
- 太平洋VHEエマルジョンの保管は、直射日光を避けるとともに、凍結を避けるために5℃以上、変質などによる劣化を防ぐために35℃以下で保管してください。
- 廃棄する場合は、硬化後に産業廃棄物として処理業者に廃棄をご依頼ください。
- 排水等は、水質汚濁防止法等の関連諸法令に従って廃棄してください。



### 安全上の注意事項

- 本製品は、カタログに記載されている方法でご使用ください。
- 本製品は、セメントと同様にアルカリ性を示します。ご使用の際は、眼、鼻、皮膚及び衣類に触れぬよう保護具(ゴム手袋、保護メガネ、マスク等)を着用の上、ご使用ください。
- 誤って眼に入った場合は、直ちに清水にて十分洗浄した後に速やかに医師の治療を受けてください。
- 誤って飲用した場合は、直ちに吐き出して、清水で十分洗浄した後に速やかに医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着すると肌荒れを引き起こすことがありますので、付着した場合は直ちに水洗いしてください。
- 作業後は、手洗い、うがいをしてください。
- 本製品の取扱いに関して、詳細な内容を必ず安全データシート(SDS)にてご確認ください。

このカタログの記載の諸性能および諸物性は、環境条件や使用条件などによりカタログと異なる結果を生じることがあります。十分にご検討の上、ご使用頂きますようお願い申し上げます。このカタログの記載内容は、予告無しに仕様や取扱いを変更することがありますので、ご了承ください。

 太平洋マテリアル株式会社 <https://www.taiheiyo-m.co.jp>

### 営業本部 機能性材料営業部

〒114-0014 東京都北区田端6-1-1 田端ASUKAタワー15階 TEL.03-5832-5217

北海道営業部	〒060-0004 北海道札幌市中央区北4条西5-1-3 日本生命北門館ビル	☎ 011-221-5855
東北支店	〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町1-1-1 大同生命仙台青葉ビル	☎ 022-221-4511
東京支社	〒114-0014 東京都北区田端6-1-1 田端ASUKAタワー16階	☎ 03-5832-5240
中部支店	〒453-0801 愛知県名古屋市中村区太閤3-1-18 名古屋KSビル	☎ 052-452-7141
関西支店	〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル4階	☎ 06-7668-6001
広島営業部	〒732-0828 広島県広島市南区京橋町1-23 大樹生命広島駅前ビル	☎ 082-261-7191
高松営業部	〒760-0050 香川県高松市亀井町7-15 セントラルビル	☎ 087-833-5758
九州支店	〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神4-2-31 第2サンビル	☎ 092-781-5331